

『つながり』をひろげ、子供たちが学校に来て
よかったと思える学校の実現

長沼小

NAGANUMASHO



「子供と向き合う、努力を褒める」

校長 高 羅 正 次

2022(令和4)年も残すところ1ヵ月となりました。日照時間が短くなり、16時には薄暗くなりました。暦の上では立冬が過ぎ、長沼町にも間もなく本格的な冬がやってこようとしています。

さて、人工知能(AI)の研究が世界的に進められ、さまざまな分野で実用化が図られてきました。アメリカの大学の先生が発表した論文が元ネタとなったと思われる、機械が奪う職業ランキングが発表されたり、人工知能の導入によって人員削減効果が表れた企業のニュースが出たりと、私たちが喜んでいいのか悪いのか、この先30年を見据えた社会の変化は、その時代に生きる子供たちを育てる私たち教師にとっても大きな話題といえるでしょう。人が人と向き合い生活し、人の考えた言葉でコミュニケーションをとって学んでいく学校においては、人間の言葉の力の方が大切なような気がします。人が使う“言葉”の魔法のような話題も同じ国の大学の研究者によって発表されました。

アメリカのスタンフォード大学の心理学者たちが、小学校5年生400人余りを対象に行った実験は、とても興味深い結果になったと言われています。その結果というのは、『まず、子供たちに簡単な図形のパズルの問題を与えます。そして、テスト終了後に子供たちにテストの点数を伝え、褒めます。成績内容に関わらず一人一人の子供を褒めるのです。半数の子供には、「あなたは、頭がいいね」と、子供の“賢さ”を褒めます。残りの半数の子供には、「一生懸命やったね」というように、子供の“努力”を褒めます。この2群は、成績が均等になるようにランダムに選定します。その後、今度は子供たちに2種類のテストを与え、どちらでも好きな方をやりなさいと伝えます。一方は、最初のパズルより難しいけれど、やればとても勉強になるパズル。もう一方は、最初のものと同じように楽にできるパズルです。すると、“賢さ”を褒められた子供のほとんどが、楽にできるほうを選びました。その一方で、“努力”を褒められた子供の9割近くが、難しいパズルにチャレンジしました。努力を褒められた子供は、さらに努力を認められるようにと難問にチャレンジするのですが、賢さを褒められた子供は、自分を賢く見せるために、間違えるのを恐れるようになるというのです。』といった内容でした。

一人一人によさがあり、可能性があります。しかし、努力しなければもっている力を十分に発揮する

ことはできません。苦手なこと、苦しいことなども続けていくうちにできるようになったり、好きになったりすることもあります。毎日の学習を含め、自分で限界を決めず最後まで挑戦してほしいと思います。私たちは、今一度学級の子供たち一人一人の姿を思い浮かべて、前に進もうとチャレンジしている子供たちを支えたり、間違いを恐れずに努力した頑張りに対し、「褒める」「認める」声かけを大切にしながら、一人一人が存在感や成就感を感得でき、自分を力一杯表現できるよう努めていきたいと思っています。地域・保護者の皆様にはこれからも変わらぬ、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

★令和4年度火災予防絵画コンクール(南空知消防組合)

2年2組の山崎薫子さんが、今年の火災予防絵画コンクールの優秀賞を受賞しました。実際に目の前で消防車を見て、画用紙いっぱい色鮮やかに描き上げました。消防車両を提供してくださった南空知消防組合長沼支署の消防士さんも、本物と見間違えるかもしれません。本当にありがとうございました。



★ふるさと長沼、トークセッション！

10月27日(木)、5年生は、「ふるさと長沼学」の学習の中で、地域で活躍されている方とのトークセッションを行いました。道の駅の企画担当の齋藤幸治氏、米・大豆・野菜のスペシャリストに、農協販売部部長の富澤和幸氏、夕やけ市の実行委員長の小笠原聡氏をお招きして、長沼町における特産や商工会の取組について学びました。ジンギスカン担当は、フムフム記者の谷淵水咲さんです。各自の学級の学習課題の解決に必要な知識を講師の先生方からご指導いただきました。また、他の学級の学習課題とも関連づけて考え、総合的に長沼町のよさを感じることができました。調べたことのまとめは、北海道新聞の折り込みで「子供新聞」として3学期中に発行予定です。



★Jump・Jump・Jump！

縄跳びチャレンジに励むスポーツの秋でした。11月24日、25日は長縄跳び集会で心地よい汗を流しました。2休みの縄跳び検定も体育委員中心にがんばりました。子供たちの軽快なナイスジャンプに、心躍りました。



★大豆の学習！

3年生は「ながめま農業協同組合青年部」の皆様のご指導のもと、大豆について調べてきました。4月からの栽培学習の集大成として、**10月27日(木)**には足踏み脱穀機で収穫作業を行いました。**社会科**の「**農家の方々と地域の人とのかかわり**」の学習を総合的な学習の時間を核として横断的に探究しました。3年生での学習が、今年の5年生の学習にも結びつくなど地域を学ぶきっかけとなる1年になりました。支えてくださった青年部の皆様、本当にありがとうございました。



★長沼小公開研究会！

11月7日(月)、**3年1組の岩山香世子教諭**が国語科「くらしと絵文字」の授業を、**6年1組の福澤洋介教諭**が社会科「明治の新しい国づくり」の授業を、町内外の先生方に広く公開しました。旧職員の姿も後押しした、あたたかい雰囲気の中で子供たちは学びのゴールを見据えてしっかりと思考していました。本校では、先生方が主体的・対話的に学び合う子供の育成を目指して、深い学びを実現する授業づくりを追究しています。学習指導案を作成して、自らの学級を先生方に積極的に公開する交流授業も活発に行っています。今後も、日常の授業がより魅力的になるように教職員一丸となって研鑽を重ねます。



★ミシンボランティアさんに感謝！

9月～11月にかけて、地域の皆様に、6年生のナップザック、5年生のエプロン作成の**ミシン実習補**

助ボランティアでお世話になりました。はじめてのアイロン実習、ミシンの使い方など優しく丁寧にご指導いただきました。子供たちは、各自が選択した色とりどりの布地で作成します。ミシン糸も1台ずつ布地に合わせて選択するので、ボランティアさんの補助が大変助かりました。ありがとうございました。



★6年生防災教育！



11月8日(火) 5時間目に、6年生は「**長沼史と防災**」について**長沼町総務財政課 参事 長沼町防災官の藤沼弘之様**にご講演いただきました。具体的な町内の地名や場所に触れながら、災害についての備えの必要性をご教示いただきました。平成30年の胆振東部地震の近隣の被害などについてもお話があり、子供たちは当事者意識を持って学習を深めました。8月に実施した1日防災学校も踏まえて、自分ごととして防災について考えるきっかけをいただきました。ありがとうございました。



★オンライン鑑賞教室！

11月15日(火)、6年生は、北海道近代美術館のオンラインアート教室で美術作品を鑑賞しました。学芸員さんの解説をもとに、絵の見方や鑑賞の楽しみ方を学びました。鑑賞作品の画像は、子供たちの手元のタブレットとテレビ画面の両方で見る事が可能でした。子供たちは、画面を大きくしたり、メモを書き込んだりするなど、学芸員さんの「**絵は描かれているもの全てにメッセージがあり、細かく見るといろいろな発見があるよ。**」というメッセージをしっかりと受け取っていました。今回の学習をきっかけに、現地で実際に絵を見る機会があると、大きさや質感なども楽しめます。冬休みに是非！



2学期終業式 {12月23日(金) 給食あり:5時間授業}

学校閉庁 {12月28日(水)～1月4日(水)}

12月の参観日は、中止になりました。

図書貸し出し {15日(木) 高学年、16日(金) 中学年、19日(月) 低学年}

給食費引落日 {27日(火)}